

入間市文化財保護審議委員会「旧黒須銀行保存活用基本計画(素案)」に係る
 検討について まとめ【市民会議資料】

1 期 日：12月3日(火) 13:30~15:00

2 場 所：博物館 会議室

3 出席委員：8名（欠席2名）

4 内容

旧黒須銀行保存活用基本計画(素案)について検討した。今回の意見を踏まえ、事務局で改めて検討することになった。(以下会議録より抜粋)

発言者	発言内容
事務局	(2) 旧黒須銀行保存活用計画(素案)に係る検討について 資料2をご覧ください。これは事務局案です。策定の趣旨としては、旧黒須銀行を西洋館や地域の歴史的建造物とともに保存活用することで地域の歴史をもの語り、文化財を未来へ残していくというものです。基本方針に基づき、現状の旧黒須銀行は修繕をしないことには活用もできないということで、保存修理計画を記載しています。活用計画については、これまでの特別公開の来館者アンケートや、ワークショップの意見を参考に、建物の公開や展示、イベントの実施を記載しています。撮影への貸出についても、これまでに撮影希望があったことはありませんが、考えていきたいと思います。財源については、補助事業や助成事業、寄付金、販売物の売上等により確保していきたいと考えています。
枝窪委員長 鹿島副委員長	ご意見をお願いします。 建物改修案はよくできていると思います。改修と活用はどのように進めるのか、具体的な計画はありますか。建物の現状では、具体的な活用方法を考えるのは難しいと思います。
事務局	修繕してから活用していくという前提の計画です。トイレを作る計画も記載していますが、イベント時に足りないようなら、別棟で裏の敷地内に造ることも考えられます。改修内容についてもご意見をいただきたいと思います。
小峰委員 事務局	総合計画で改修の時期がいつになるのか決まっていますか。 総合計画では時期までは記載がありませんが、実施計画では令和6

発言者	発言内容
事務局 梅津委員 事務局 梅津委員	<p>年度、渋沢栄一の新紙幣の出る時期に合わせて完成となる計画です。外壁や階段も直すのには費用はいくらかかるか見積は出ていますか。</p> <p>約1億8千万円という見積が出ています。</p> <p>この計画では、市の一般財源を使わずに他からお金を集めるという書き方をしています。市が一般財源を入れてでも直すのだという覚悟がないのなら、こんな改修計画はやめた方がいいと思います。いくらお金を集めても、1億何千万というお金にはならないと思うので、そこは市の一般財源を使って修繕をしてほしいと思います。ぜひ市として頑張ってくださいようお願いします。私は、トイレよりまずは外観を復元することが重要だと思います。現状は、元は黒かった外壁が白くなっていたりするので、そこを復元してほしいと思います。かつて、博物館敷地内に移築するという話もありましたが、移築せず町の中で使われることになってよかったと思います。町の中で活用するにあたって、まず目を引くのは外観です。歩いている人が「おっ」と思うような外観が必要です。また、外観を隠すように建っている歩道橋が景観上、邪魔であると思います。「利用者がいるので撤去には反対だ」という意見もありますが、歩道橋は足の悪い方などには利用しづらいものなので、横断歩道や押しボタン式信号にするなど、利用者にとって良い方法を地元の方と検討していただきたいと思います。ただ、歩道橋の上からの眺めは非常に良いです。ちょうどカーブになっているので見晴らしもよくなっています。</p>
荒牧委員	<p>押しボタン式信号は信号の時間を調整すれば渋滞の要因にはならないと言われてしています。</p>
事務局	<p>歩道橋については、自治会にも意見を聞いて、押しボタン式信号や横断歩道なども視野に協議していきます。また、財源については、渋沢栄一が注目されるときなので、この時期に国や県の補助金も活用してがんばりたいと考えています。</p>
梅津委員	<p>先ほどはきつい言い方であったかもしれませんが、全額とは言いませんが市の一般財源を投入してぜひこの改修と活用をやり遂げてもらいたいと思います。</p>
荒牧委員	<p>改修しても創建時の建物の痕跡がわかるようにしてもらいたいと思います。また、イベントをするにはトイレが足りなくなるでしょう。回遊すると考えると外にトイレがあると便利です。そこは、周辺の施設と</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>の連携も考えられるとよいです。また、バリアフリーをどうするかも問題です。1階はバリアフリーにできるでしょうが、2階は難しいと思います。技術的に外壁にエレベーターを付けることはできますが、市の財政的に難しいと思いますので、階段を上れない方も納得するように進めてもらいたいと思います。</p> <p>活用だけでなく保存という観点から元の状況がわかるように考えます。バリアフリーについても、設備を設置することによって文化財の魅力が損なわれることもあるので、事務局でも考えていきます。</p>
染井委員	<p>旧黒須銀行に係わりのある発智家や繁田家から資料を集めて、人がどのように来ていたか知ることが重要だと思います。</p>
小峰委員	<p>8頁に「回遊」という言葉が出てきますが、聞き慣れない言葉です。「散策」という言葉ではいけないのでしょうか。</p>
荒牧委員	<p>「回遊」は地域をぐるぐると回るという意味です。散策だとルートが決まってしまう。「回遊」はルートを決めるのではなくどこからでも始まって戻ってくるすることができます。</p>
小峰委員	<p>細芳織物工場や當摩本店についても記載して、残そうと思ってもらえたらと思います。残してもらうのも課題です。</p>
荒牧委員	<p>名前を出すのが難しいようならば、他の民間の建物と記載するのもよいと思います。</p>
小峰委員	<p>「道徳銀行」は渋沢栄一が揮毫していますが、当時一般的に呼ばれていたのか疑問もあります。</p>
荒牧委員	<p>建築史の専門家による考察はされていますか。アドバイスはどなたから受けていますか。</p>
事務局	<p>特定の専門家に助言をいただいたわけではありません。旧黒須銀行が指定文化財になる際には前野まさる先生による調査が行われています。県の総合調査の一環などではなく単独の調査です。その後、平成6年に文化財工学研究所に痕跡を見ていただいています。</p>
荒牧委員	<p>復元するにはどの時点で復元するか、といった問題があると思います。まず、指定文化財としての復元案を文化財保護審議委員会に提示してください。</p>
事務局	<p>来年度、基本設計で詳しく調査し復元案を作成する予定です。この図は、基本設計前の予想図です。</p>

発言者	発言内容
<p>染井委員 事務局</p> <p>荒牧委員</p>	<p>黒須公民館の建替えについてはどういう計画ですか。</p> <p>高倉公民館と統合して地区センターになり、10年後くらいに建替えとなる計画です。場所は決まっていません。まだしばらくは今のままとなります。</p> <p>回遊の拠点とするには駐車場が必要ですが、この地区は住宅地でパーキングタワーも作れないでしょうし、どうしたらいいか難しいですね。</p> <p>現状でギャラリーやイベント会場として使いたいと言われたら、使えますか。活用実験となり、波及効果もあるのではないかと思います。修繕前で使わせるのは問題があるかもしれませんが、柔軟な対応をお願いしたいです。</p>